

■効果の見える治水事業
徳島県 奥河内 急傾斜地崩壊対策事業

徳島県南部総合県民局

県土整備部副部長 はなだ つとむ
花田 務



○概要

当該箇所は、「四国の右下」の県南に位置する海部郡美波町奥河内にあり、海部灘に面した津波襲来地であります。

がけ下の中央部には、防災拠点となる美波町役場や避難場所となる日和佐小学校があり、さらには美波町コミュニティホールが隣接するなど、美波町の中心地となっております。

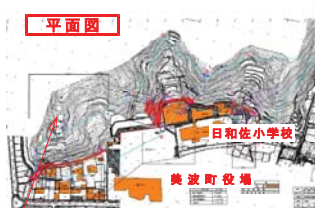
徳島県では急傾斜地崩壊対策事業によるがけ崩れ対策に併せて、地域防災計画において緊急避難所に指定されている高台への避難路を整備しております。また、本箇所においては、高齢者や児童に配慮した手摺の設置を行うこととしております。

美波町においては、都市防災推進事業により1400人の住民を津波から避難させるため避難路、避難場所の整備を行っており、津波避難困難地域の解消に努めております。

南部総合県民局では、今後とも「死者ゼロを目指して」海と山が近い地域特性を生かし、がけ崩れ対策に合わせた津波避難場所の整備を進めて参ります。

○事業内容

- ・事業期間 平成24年度～平成27年度
- ・整備内容 擁壁工 L=192m
- 法 枠工 A=350㎡



安全・安心の実現による住みよいまちづくり



かげじ のぶよし
徳島県 美波町長 影治 信良

美波町は、平成18年3月31日に日和佐町と由岐町が合併して誕生した総面積140.82km²のまちです。徳島県の南東部、県南海岸の中央部に位置し、町域の大部分を山地で占められています。また、海岸部は、風光明媚なりアス式海岸でアカウミガメの産卵地である大浜海岸等があり、室戸阿南海岸国定公園の中心部に位置している自然豊かなまちであります。

美波町では、近いうちに発生が懸念される南海トラフ巨大地震・津波への備えとして、避難路、避難場所等の整備を急務として取り組んでおります。

沿岸集落においては、津波到達時間が極めて短い状況を踏まえ、役場庁舎等に津波避難階段の併設また、高台等の安全な場所への避難を可能とするため、徳島県のご配慮により町内の急傾斜地崩壊危険区域において、急傾斜地崩壊対策事業（交付金事業）や南海地震対策緊急事業（県単砂防事業）により、施設管理を兼ねた津波避難階段が各所（12箇所の内10箇所完成）で完成しております。

また、砂防事業による工事用道路や高規格道路法面を避難路や避難場所として活用する等、地域住民の不安解消が図られているところです。

このように避難路及び一時避難場所の確保と合わせ、認定こども園等公共施設の移設や二次避難場所となる防災公園の整備等、事前復興まちづくり事業として高台整備構想の検討も進めているところです。

今後とも、地域住民の安全・安心に資する災害に強いまちづくりを推進してまいります。



【県単砂防事業による津波避難階段】



【役場庁舎津波避難階段】